



金峰コシヒカリを手植えする金峰学園4年生
＝南さつま市金峰

7月下旬に収穫する予定。弥栄匠海さんは「金峰の米はフワフワでおいしい。保育園以来の手植えは気持ちよかった。馬場心愛さんは「足が冷たかったけど、だんだん慣れて楽しかった。みんなが笑顔になる米になれば」と語った。

2025年3月27日付15面

金峰コシヒカリ

超早場米 児童手植え

南さつま市金峰で、しまブランドの超早場米「金峰コシヒカリ」の田植えがピークを迎えている。地元金峰学園前の田んぼでは21日、4年生と、今季の田植えは3月9日から始まり、最も早く、403戸が金峰コシヒカリを生産、作付面積は500畝で収量2300トを見込む。

同学園の米作りは地域や古里の魅力・産業に特化した学習「金峰学」の一環。農家が提供した約10畝の田で児童はJAさつま日置青年部のメンバーや市職員に教わりながら、ひもに沿って1列ずつ手植え。泥に足を取られながらも奮闘した。

むずかしい漢字とことば

金峰(きん・ほう)
超(ちょう)
迎(むか)えて
泥(どろ)
苗(なえ)
振興(しん・こう)＝ものごとをさかんにすること。また、さかになること。
収量(しゅうりょう)
見込(み・こ)む
地域(ち・い)き
魅力(み・りょく)
一環(いつ・かん)
提供(てい・きょう)
職員(しょく・いん)
沿(そ)って
奮闘(ふん・とう)
下旬(げ・じゅん)＝月の21日から月末まで。
収穫(しゅう・かく)
保育園(ほ・いく・えん)
慣(な)れて

【問1】「金峰コシヒカリ」は、何ブランドなのでしょう。

【問2】4年生38人は、いつ田植えを経験したのでしょうか。

【問3】南さつま市農林振興課によると、今季の田植えはいつから始まったのでしょうか。

【問4】収穫はいつの予定なのでしょう。

【調べてみよう】身近な地域の田植えについて、調べよう。